

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

## 米雇用統計は先月の反動増となるか (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 武富龍太

今週のドル円予想レンジ **109.40 ~ 110.90**

### りそなWEEKLY COLUMN

## ワクチン接種の進展と株価について (P3)

関西みらいフィナンシャルグループ  
ストラテジスト 荻谷 将吾

- コロナウイルスを巡る情勢は、米英を中心にワクチン接種が進展し、経済正常化への動きが加速。一方、日本では緊急事態宣言が延長され、ワクチン接種にも遅れ
- 日本株のパフォーマンスが他国の株価に劣後している要因の一つ。6月にはワクチン接種の進展とともに、日本株に影響が出てくる可能性

2021/5/31

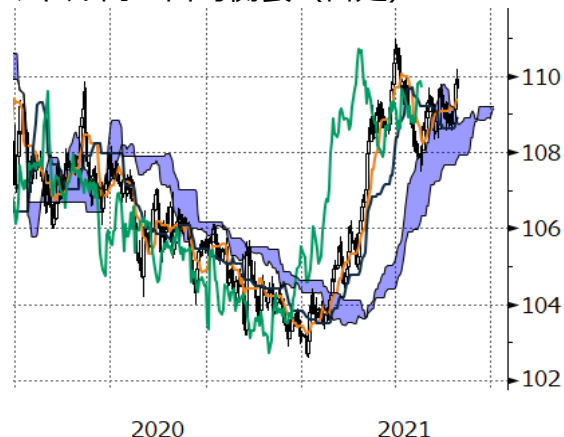
# りそな外為レポート

## 米雇用統計は先月の反動増となるか

今週のドル円予想レンジ **109.40 ~ 110.90**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表（日足）



### ◆為替相場のすすめ

米国ではワクチン接種が進んでおり、経済指標の改善及び金融政策正常化に向けた進展が期待されている。しかし、市場の期待値が高まっていることもあり、5月に入り公表された経済指標はやや失望を誘う内容が多かった。特に、米4月雇用統計が市場予想を大きく下回ったことで、量的緩和縮小開始への期待感は後退。また、米インフレ期待の上昇と実質金利の低下も加わったことで、為替市場ではドル安圧力に繋がっているが、同時にリフレトレード機運の高まりは円安圧力にも繋がっている。そのため、ドル円は方向感が出づらく、クロス円は上昇傾向となっている。

そのような状況下、今週は米5月雇用統計が発表される。先月の大幅下振れの反動はあるのだろうか。過去20年の米雇用統計で、市場予想比10万人以上下振れたのは28回。その下振れ28回の翌月は、“市場予想を平均4.5万人程度上回る”という結果であった。ADP雇用報告や失業保険申請件数等の雇用関連指標は堅調を維持していることから、リスクは予想比上振れであろう。金融政策正常化期待の高まりに連れたドル円上振れに警戒が必要か。  
(カスタマーディーラー 武富龍太)

### ◆ 今週の日程

31日 (月) 日 4月鉱工業生産  
31日 (月) 米 休場 (Memorial Day)  
31日 (月) 中 5月PMI  
1日 (火) 米 21/1Q法人企業統計調査  
1日 (火) 欧 5月CPI

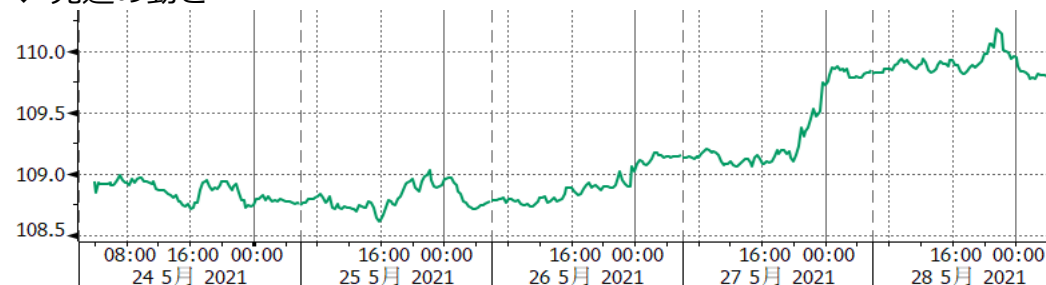
1日 (火) 米 5月ISM製造業  
2日 (水) 米 地区連銀経済報告  
3日 (木) 米 5月ISM非製造業  
4日 (金) 米 5月雇用統計  
4日 (金) 米 4月製造業受注

### ◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓)

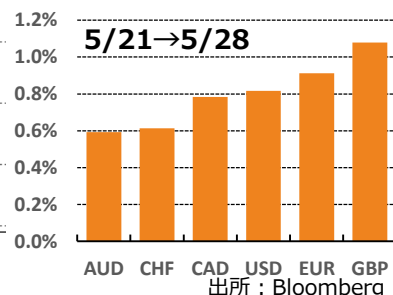
NY引け値 5月28日(金) 109.85円 VS 6月4日(金)

東京					大阪(りそな)				埼玉				大阪(関西みらい)				神戸													
井口	小林伸	石川	湊一	田中	湊真	中里	范	伊藤	村永	小林翔	鈴木	武富	上野	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川
↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	休	↑	↑	↑	↑	↑	↑	休	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑

### ◆ 先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

# りそな WEEKLY COLUMN

## ワクチン接種の進展と株価について

- コロナウイルスを巡る情勢は、米英を中心にワクチン接種が進展し、経済正常化への動きが加速。一方、日本では緊急事態宣言が延長され、ワクチン接種にも遅れ
- 日本株のパフォーマンスが他国の株価に劣後している要因の一つ。6月にはワクチン接種の進展とともに、日本株に影響が出てくる可能性

関西みらいフィナンシャルグループ  
ストラテジスト 刈谷 将吾

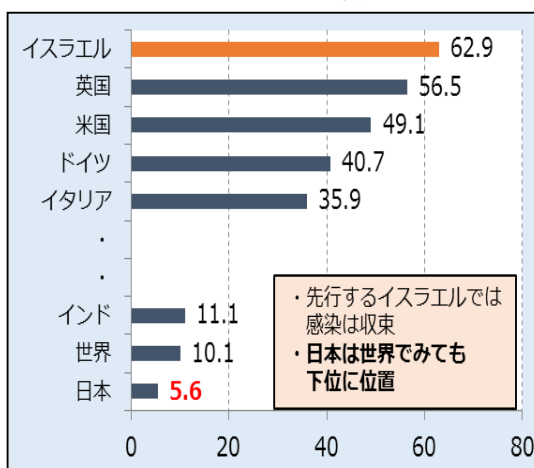
### ➤ ワクチン接種の進展による収束期待

ワクチンの接種率が20%を超えると、次第に感染抑制効果が出始めるといわれており、40%を超えるイスラエルや、英国・米国では、各種規制措置の解除が進んでいます。最も接種率の高いイスラエルでは5月に入って、1日当たりの感染者が発生しない日も出始めております。

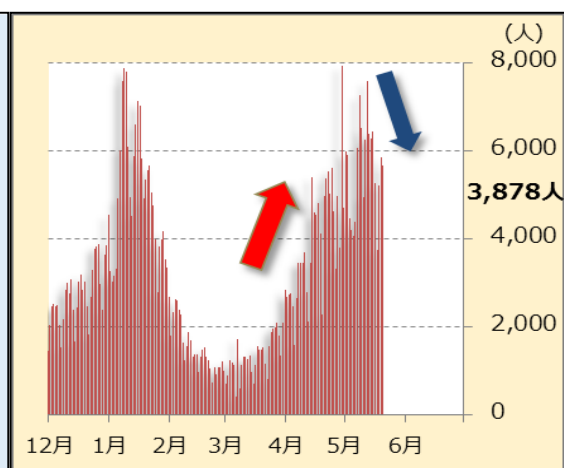
遅れているとされていた欧州でも、ドイツやイタリアは接種率が30%を超えてきており、徐々に新規の感染者数が鈍化、今後収束へ向かうことが期待されています。

日本では、ワクチン接種率が未だに1桁%台ですが、緊急事態宣言効果から新規感染者数は徐々に減り始めております。

【100人あたりの1回以上接種済み人数】



【日本の1日当たり新規感染者数】



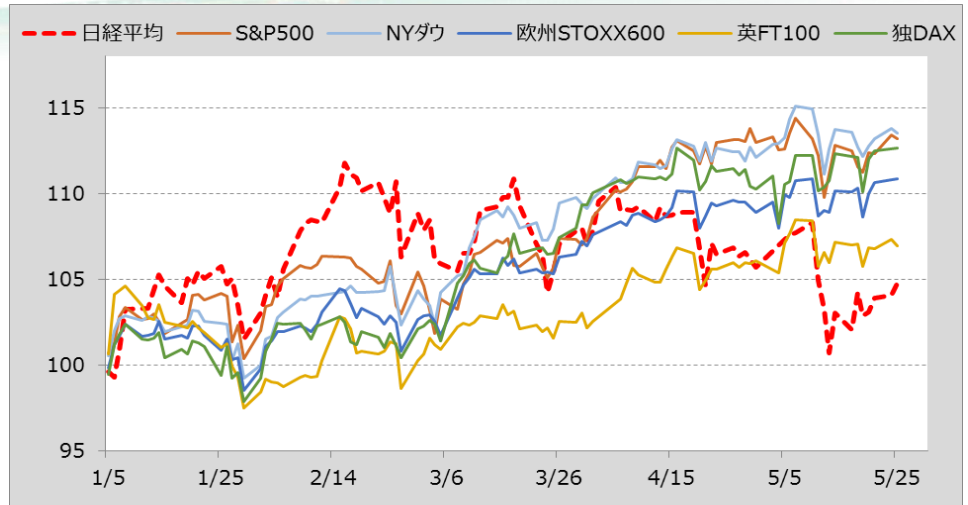
### ➤ 劣後する日本株のパフォーマンス

コロナ収束ムードの海外に反して、緊急事態宣言下の日本では、株価のパフォーマンスも劣後しています。特に4月以降に顕著に表れ、3回目の緊急事態宣言やワクチン接種の遅れに加え、日銀のETF買入れ基準の厳格化要因もあり、日本株のパフォーマンス悪化につながったものと見られます。

2021/5/31

# りそな WEEKLY COLUMN

【年初を100とした各国株価推移】



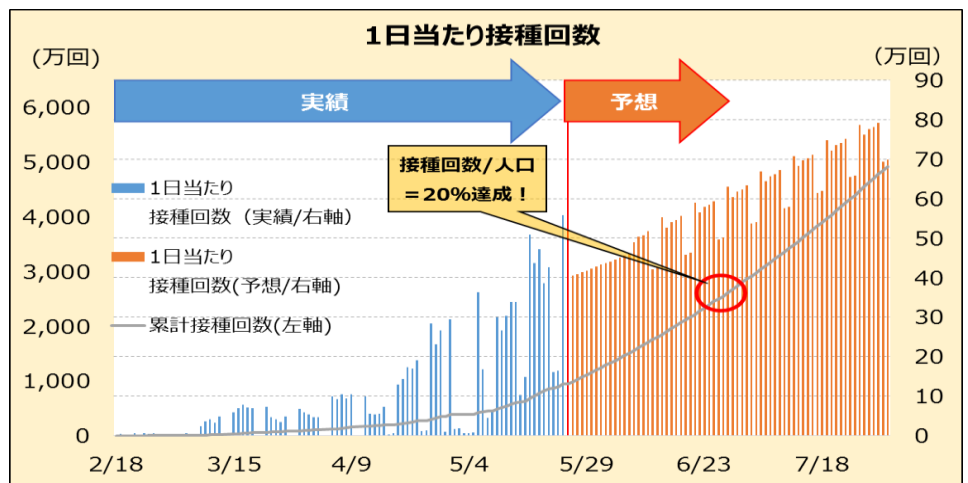
➤ 今後のワクチン接種率は？



足元では1日当たりの接種ペースが40万回程度、累計で1,000万回程度まで増加してきており、以前ほど悲観する声は少なくなっているようですが、政府の想定するスケジュールで接種を完了させるためには一段のペースアップが必要です。

過去の接種回数の推移を回帰分析し、1日当たり接種回数を予測してみると、6月末で60万回・7月末で70万回程度となり、累計接種回数は4,900万回程度となります。6月下旬頃には、接種回数/人口が20%を超える予測となり、緊急事態宣言の解除の期日とも重なります。この頃には徐々に収束方向へと向かい始めている可能性があります。

【回帰分析による今後のワクチン接種の推移予測】



※但しこの予測は、過去の実績からの予測の為、今後大規模接種会場の稼働が本格化することや、「ワクチンの打ち手」不足解消が進むことにより更に上積みになる可能性or接種回数が頭打ちになる可能性もあります。

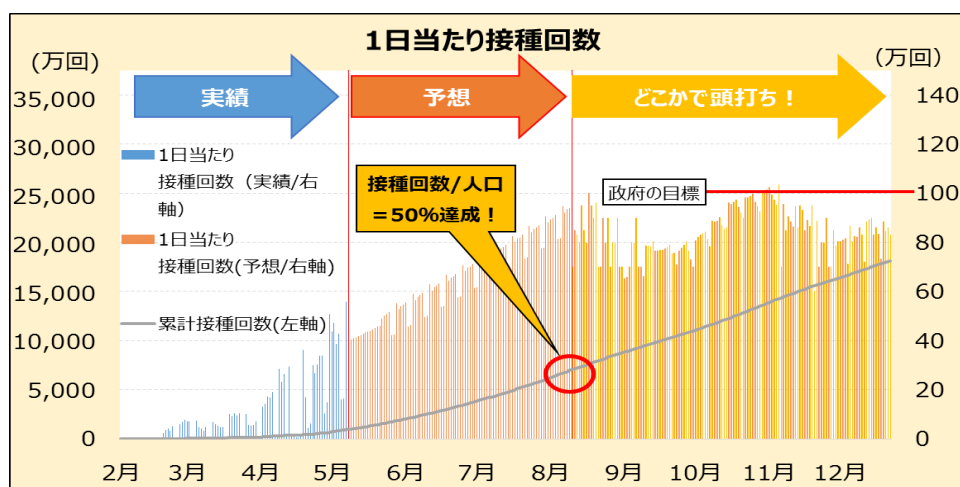
◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/5/31

# りそな WEEKLY COLUMN

【参考：年末までの予測】

過去の実績からすると順調に接種回数が増え続けるはずですが、他国と同じように1日当たりの接種回数はどこかで頭打ちする見通しです。政府の目標の100万回/1日当たりの到達はいつになるのでしょうか。



## 最後に



日本についても、今後ワクチン接種ペースが加速し、コロナウイルス収束が意識される時期が到来すると思われます。コロナウイルス収束への意識が高まると、日本株のパフォーマンスが劣後していた要因の一つが剥落することになります。市場参加者の材料の織り込みは常に前倒しで行われる為、コロナウイルス収束が見え始めた頃には株価への影響が出てくるものと思われる為、今後のワクチンの接種ペースは注目です。

ただしながら、コロナワクチン収束期待を上回る他の材料が出てきている場合には注意が必要です。現時点ではFRBを始めとする主要中央銀行の金融緩和解除に向けた動向や、需要の拡大に伴う物価の上昇、ワクチンの効かない変異種の流行等が考えられます。

(出典)：厚生労働省HP・首相官邸HP・Bloomberg・各種報道